

金華七

乙卯春新鐘

上

~ 13
3689
16



へ13
號 3689
卷 16



秀賀作

國貞画

金華七變化
十六篇上

乙丑奏

金松堂



金華七變化
第...
輯...
夫木集

源仲正

九治九甲子
孟春脱稿
鶴亭
秀賀記





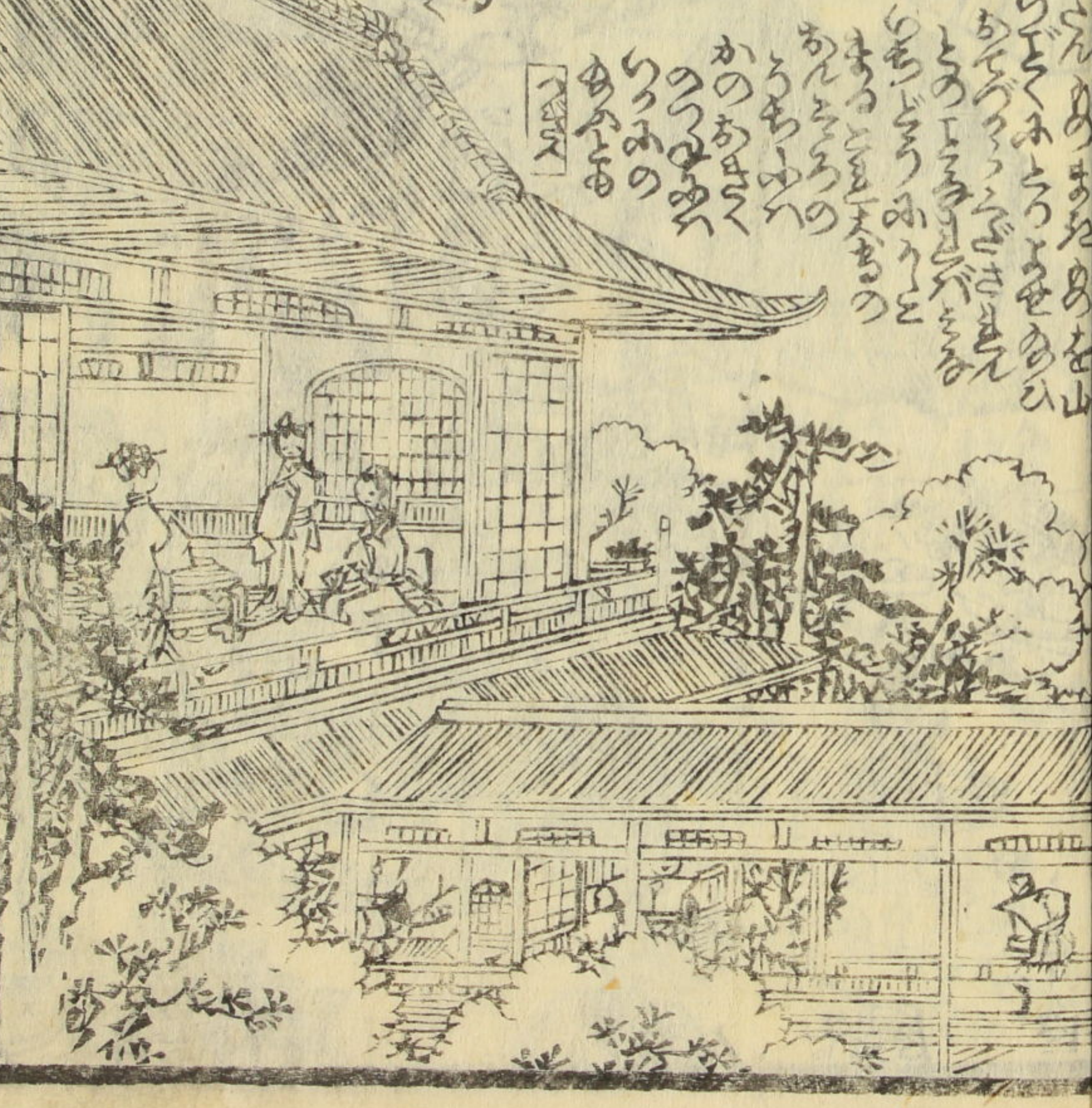
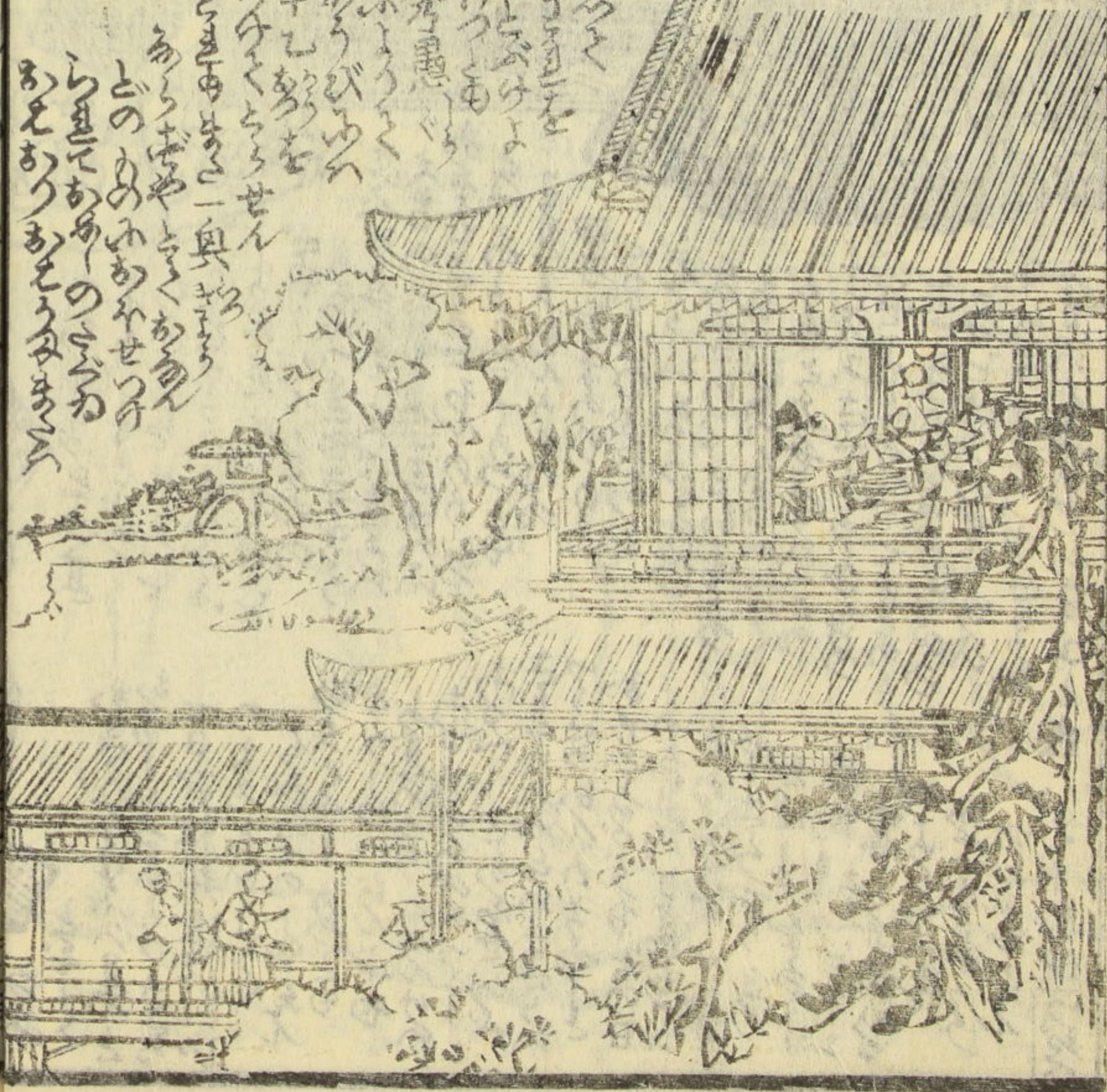
○大内家の侍臣
露掛曾波九郎高盛

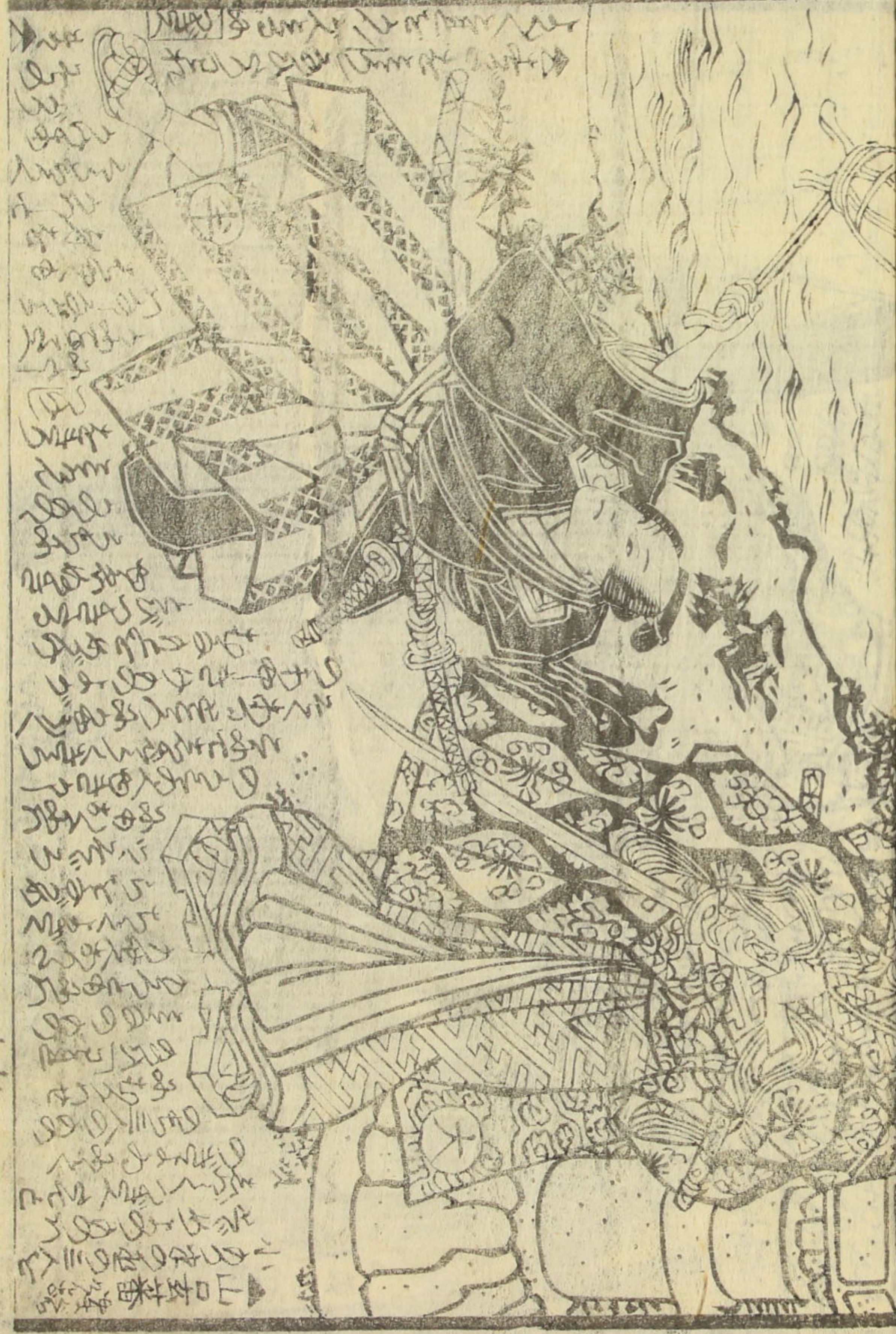
○大内家の侍臣
井井佐藤太
行白

○東嘉
兵衛正廣
の乙女
於菊

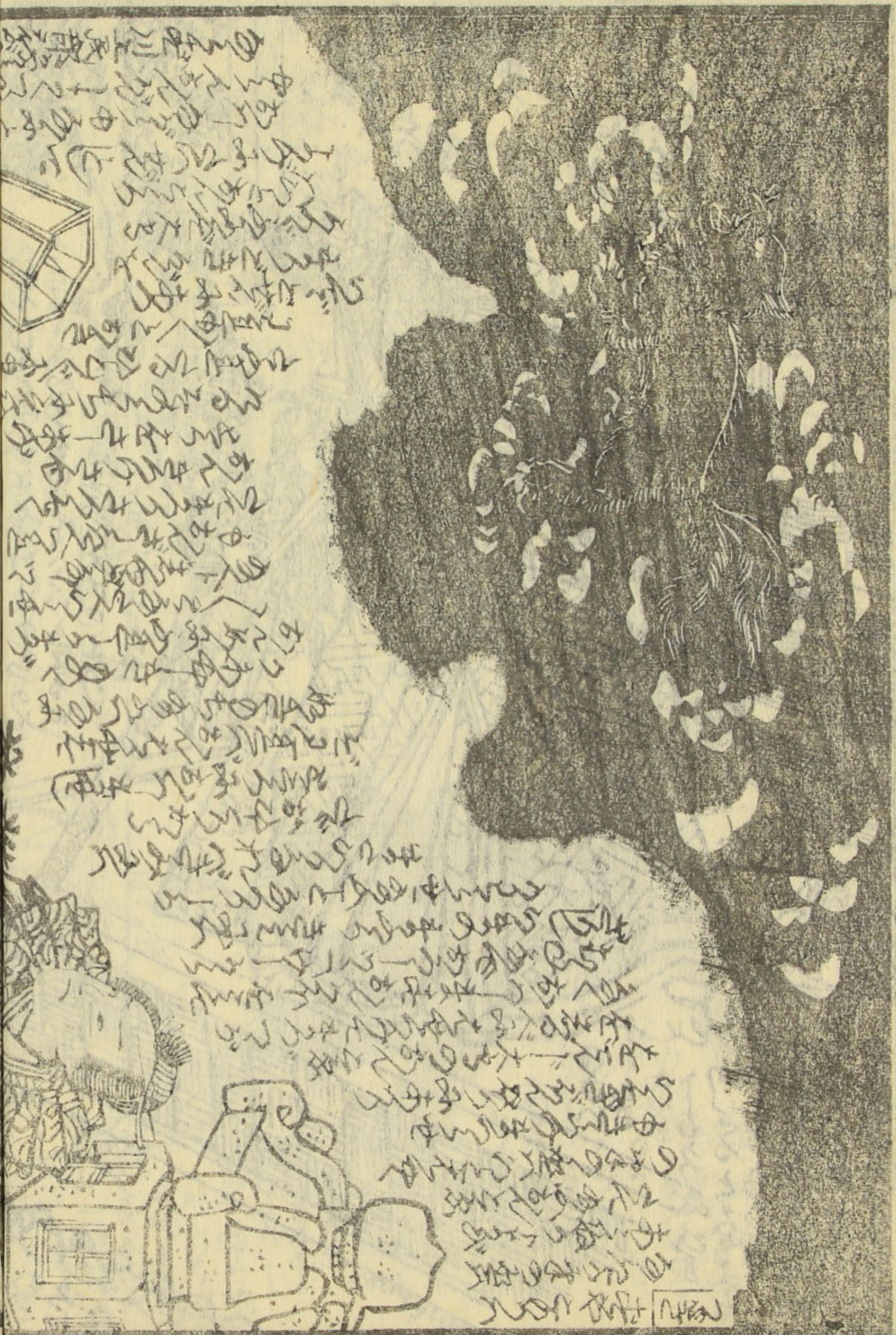
つぎは...
この山深...
鳥風月...
その...
ち...
か...
よ...
の...
ぎ...
鳥...
や...
その...
ち...
か...
よ...
の...
ぎ...

つぎは...
この山深...
鳥風月...
その...
ち...
か...
よ...
の...
ぎ...
鳥...
や...
その...
ち...
か...
よ...
の...
ぎ...



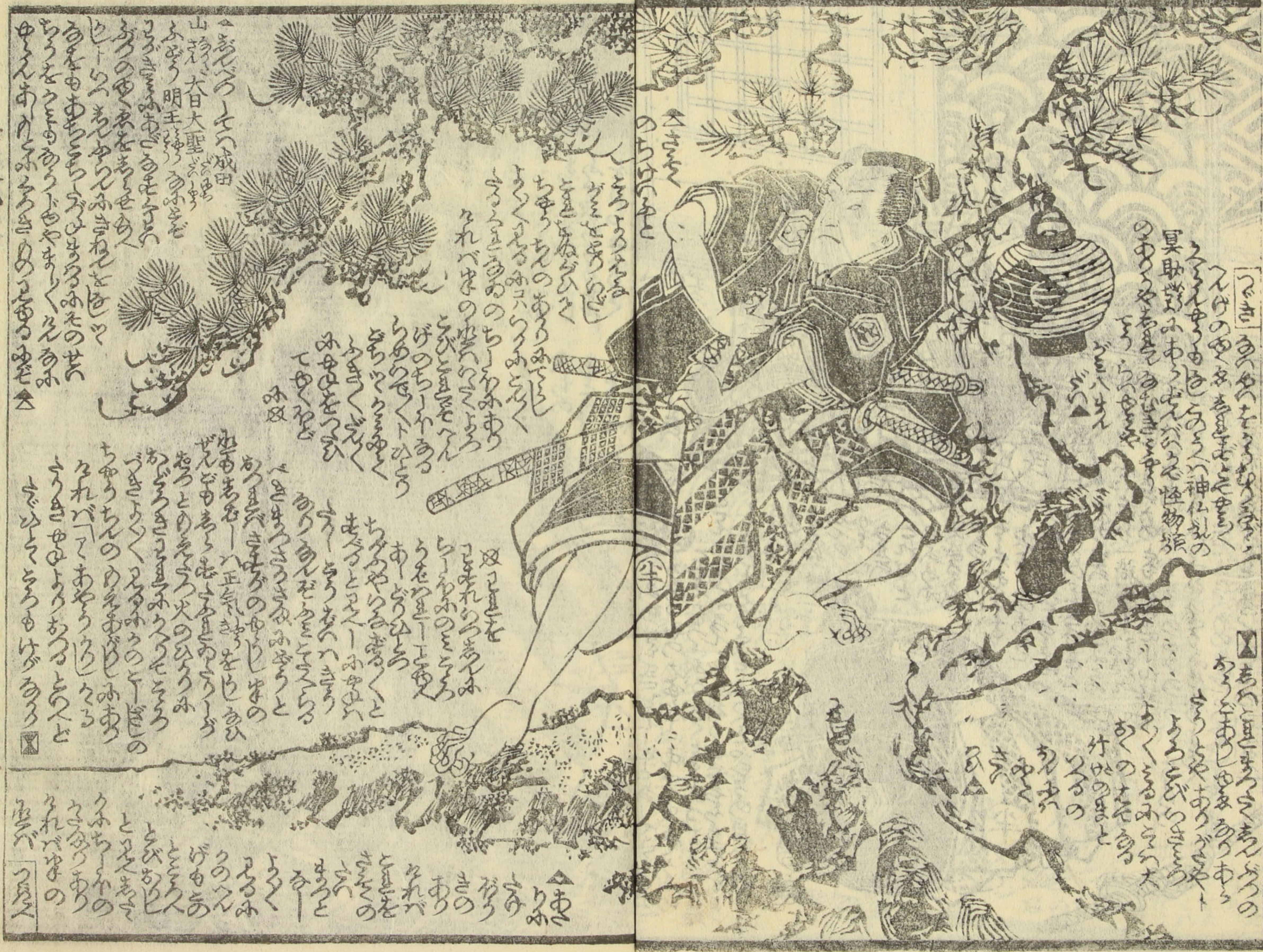


Vertical handwritten text on the left margin of the left page, written in a cursive script.



Vertical handwritten text on the left margin of the right page, written in a cursive script.

Vertical handwritten text on the right margin of the right page, written in a cursive script.



此の山は神代松の
異助の松と云ふ
松の葉は神代松の
葉の如しと云ふ

此の山は神代松の
異助の松と云ふ
松の葉は神代松の
葉の如しと云ふ

山形 大目大聖

山形 大目大聖
ふやう 明王
此の山は神代松の
異助の松と云ふ
松の葉は神代松の
葉の如しと云ふ

此の山は神代松の
異助の松と云ふ
松の葉は神代松の
葉の如しと云ふ

此の山は神代松の
異助の松と云ふ
松の葉は神代松の
葉の如しと云ふ

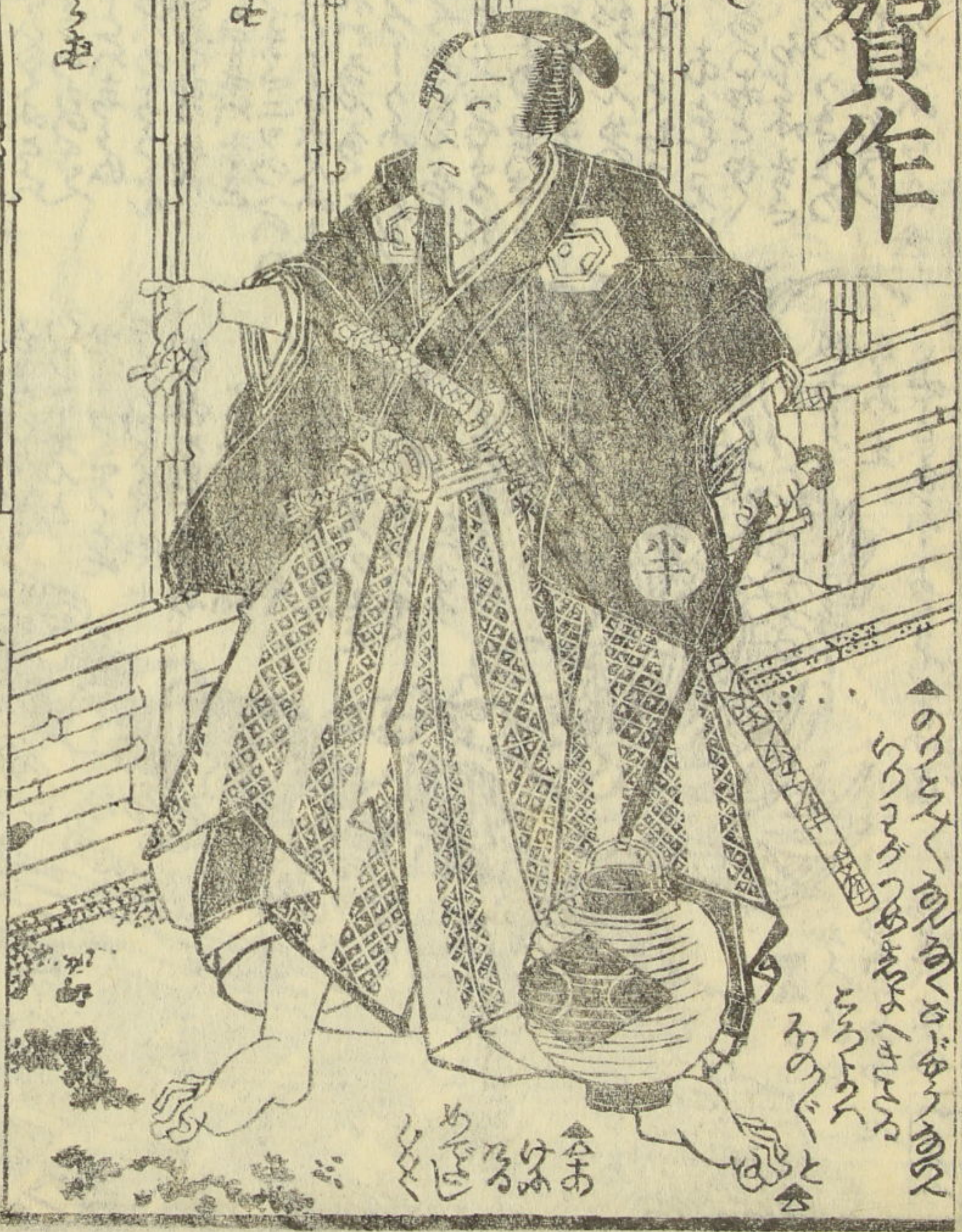
此の山は神代松の
異助の松と云ふ
松の葉は神代松の
葉の如しと云ふ

此の山は神代松の
異助の松と云ふ
松の葉は神代松の
葉の如しと云ふ

此の山は神代松の
異助の松と云ふ
松の葉は神代松の
葉の如しと云ふ

鶴亭秀賀作

つぎ 世のつらさを
 るがてら 志をこめて
 せそ ぞらせん
 とく ことごとく
 まろ ことごとく
 うめ ことごとく
 るる 用はた
 めら せむ
 わら せむ
 あら せむ
 りや せむ
 の せむ
 めん せむ
 えん せむ
 せむ せむ
 と せむ
 ふあ せむ
 そ せむ
 ち せむ



歌川貞画

周防添櫛模様 四編 貞雅作
 六編 國貞画

梅春霞外始 三編 尊文作
 讀切 國貞画

濡衣女鳴神 十編 秀松画
 讀切 國貞画

道外江戸名所 大編 廣景画
 五編 番賣

横山町三丁目
 辻岡屋文助様

神 氣を毒く 小児五か 諸病よし
 仙 一角丸
 調合所 上総國 大野傳兵衛
 東金町

江戸形町通
 飯島啓三郎謹製
 武田高月 大貝百丸
 小貝二十銀
 中貝十八銅

文 地本 問屋 金松堂
 双紙

